

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	西部三村 巨木・古木コンテンツ化事業 (地域の古巨木に着目した周遊促進事業)
事業主体 (連絡先)	下伊那郡西部3か村地域振興協議会 代表 熊谷 秀樹 (0265-43-2220)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,485,390 円 (うち支援金: 1,139,000 円)

事業内容

「ウィズコロナ」と呼ばれるこれからの観光において、密になりにくいアウトドア・アクティビティに期待している。

そうした背景の中、巨木や古木を新たな観光コンテンツとしてPRし、観光客の滞在時間を延ばすことで、地域の消費に結び付けるため、古巨木をテーマにした「木になるカード」とそのパンフレットを作成し、カード取得に消費を促す条件を付けた事業を行った。

また、阿智村観光局、南信州観光公社と連携し古巨木を巡るツアーを実施した。



(活動写真)

【木になるカード】

【目標・ねらい】

- ①地域の古巨木に着目した周遊促進事業
- ②域内を周遊してもらい、交流人口増加及び消費喚起を図る。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

7月1日より事業を開始し、11組がコンプリートした。

カードは、店が配布した分が277枚。10月10日に行われたツアー参加者用に配布したものが、36枚で合計313枚となっており、店による配布が単価約800円、ツアーの参加費が15,000円となっているため、約350,000円の経済効果が発生している。

※自己評価【B】

【理由】

古巨木を活用し、新たな観光振興が図られた。
コロナ禍でも一定の消費喚起ができた。

今後の取り組み

※今後、事業をどう効果つなげていくか記載すること。

継続事業のため今後もプロモーションや各施設との連携を密にしていくことが必要。したがって、引き続きプロモーションを行いながら、観光振興を図っていく。

また、他市町村へ当事業を広げ、広域観光を推進していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある